

ノーバディーズ・パーフェクト育児支援事業評価： 質的データの実践的分析



後藤あや (1), 水野美文 (2)



1. 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座, 2. NPO法人place of peace

【 背景 】

ノーバディーズ・パーフェクト (NP) とは、カナダ全土で行われている育児支援事業で、参加者同士の話し合いにより、体験を通して学ぶプロセス (体験学習サイクル) を促進するものである。

我々の先行研究においては、NPを参考にした育児支援を、自治体の事業として実施した。その短期的効果について量的データを中心に分析したところ、母親の精神健康度および育児状況の改善を認めた。

(後藤、津富、他、カナダのNPを参考にした育児学級参加者の追跡、保健師ジャーナル、2010; 66: 1086-1094)

【 目的 】

NPとして正式に認定を受けて実施している事業の短期的効果について、事業枠内で収集した質的データを分析する試みを行った。

【 方法 】

静岡県静岡市内で、NPO法人place of peace主催で平成26年度に実施したNPの、参加前後のアンケートを分析した。介入は、話し合いを中心とする計6回のセッションから成る。事前アンケートでは、日常生活で困っていること・子育てで大変なことについて、事後アンケートでは、5段階スケールの満足度と、変わったことと学んだことについて自由回答を求めた。

事前アンケートは平成25年度評価で作成したカテゴリーに基づいて集計した。事後アンケートの満足度については集計し、自由回答については質的分析 (SCAT: Steps for Coding and Theorization) を用いてストーリーラインと理論的解釈を作成した。

SCATを用いた分析手順

<http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/>

- 小規模の質的データの解析に適用できる。
- エクセルを用いて系統的に作業を行える。
- 文章から注目する語句を取り出し、言い換え、その背景を説明し、浮き上がるテーマを書き出す。テーマを用いてストーリーラインを作成し、理論的解釈をする。



【 結果 】

参加者は8人、事前アンケートは6人、事後アンケートは7人から回収。事前アンケートの結果は図1。

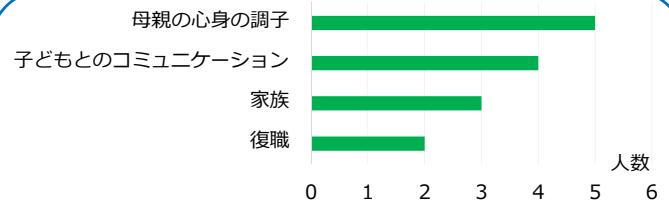


図1. 事前アンケート：困っていること・大変なこと

※平成25年度評価で作成したカテゴリーを利用して集計
※2人以上が記載したカテゴリーを提示

事後アンケートでは、7人全員が本事業を「(とても)気に入った」と回答。SCAT分析の結果は図2。

客観的な視点の獲得

自分と周りを客観視でき、柔軟に対応する姿勢を身につけることができる。
「子どもの立場になって感じたり、考えたりするようになった。自分だけが子育てに悩んでいるんじゃないんだと実感でき、今回出会った方たち以外にも街で会う子連れの人たちもみんな仲間に思えてきた。」

主体性の獲得

自ら必要なことに気がつき、育児の主体性、自己肯定感が高まる。
「完璧な(親も)子どももないのだが、私たち流に頑張ろうと思う。」

仲間づくり

協力者がいること、自分が協力することもできるという、人と人の協力関係に気がつき、仲間づくりや家族とのコミュニケーションを促す。

精神的健康の向上

上記の学びから精神的健康が向上し、他者との関係向上のきっかけとなる。
「時に自分のための休息をとりつつ、娘と、夫と、夫の家族と向き合っていたいと思いました。」

図2. 事後アンケート: SCAT分析結果

※7人の理論的解釈のまとめ

【 結論 】

NPの参加者の受容は高く、心身の疲れを訴え、子どもへの接し方について悩んでいた対象者が、本事業により子育てに対する客観的な視点と主体性を獲得し、仲間づくりと精神的健康の向上につながる経過が、比較的簡便な質的データの分析により示された。

【 謝辞 】

事業評価にご協力いただいた津富宏教授 (静岡県立大学国際関係学部国際関係学科) に深謝いたします。

NPO法人place of peace <http://www.pop-s.org/>
NP-Japan <http://homepage3.nifty.com/NP-Japan/>

※COI開示 (後藤) : 本発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。